



酒匂の清流

令和4年10月3日(月)発行

校長 津田 将美

アサガオの風景

「大きくな〜れ、大きくな〜れ、大きくなれ、大きくなれ、大きくな〜れ」♪
出勤してから校長室の窓を開けると、リズムカルでかわいらしい声が聞こえてきました。カーテンの隙間から外を見ると、男の子が一人、アサガオに声をかけているところでした。

ほぼ花が咲き終わったアサガオは、今じっくりと実を太らせている最中です。しっかりとした大きな実になってほしいという願いがこもっているようで、私もその声から栄養をたっぷりともらいました。

職員室前に並んだアサガオのある風景は、1学期からの見慣れた風景ではありますが、毎朝一生懸命アサガオに水をあげる子どもたちとそれを校門から見守る保護者の方の姿が何ともほのぼのとしてあたたかいものでした。2年生は自分の選んだ野菜、3年生はホウセンカ、4年生はヘチマ、5年生はバケツ稲と栽培活動は、その行為を通して知識を獲得するだけではなく、心に栄養をたくさん蓄えることにもなるのだと思います。



先日、うれしいことがありました。

用務員さんが私のところへ来て、こんなことを教えてくれました。

「今、近隣の方が私に声をかけて、このプレゼントをある子に渡してほしいと言われました。渡すことはできますか？」

よく話を聞いてみると、その方は朝、ごみを運んでいる時に手伝ってもらったことがうれしくて、プレゼントを作って家の前を通るのを待っていたそうです。でも、その時間になかなか合わすことができなくて、渡せていないということでした。

まだ外で作業をされているということだったので、教えてもらったお宅まで行って見ました。その方のお話では、ちょうど手にけがをしているところで、その手でごみ袋を運んでいるのを見て、その子は声をかけてくれたようです。その方は、本当にうれしそうな、感謝の気持ちいっぱいの表情で、私に心をこめて話をしてくださいました。

だいたい、通る時間、特徴を聞き、めぼしをつけて教室に向かいました。

ジャストミートでした。その子はさりげなく肯定すると、プレゼントを受け取ってくれました。私もうれしくなって、すぐにその方へ報告に行きました。その方も、とても喜んでくださいました。

子どもたちの心はとてもしなやかで、心に栄養がたまるとそれを周りに向けようになります。人や植物、ものとふれあう経験や充実した体験、心があたたまる感動は少しずつ心にたまっていくと自然と周りに向かいます。

アサガオのある風景は、その象徴なのかな…、と感じます。栽培活動だけでなく、日常の様々な活動の中で、心に栄養がたまる小さなことを、少しずつ、少しずつ積み重ねていきたいと思います。



車いす体験

9月22日(木)に、4年生を対象に、車いす体験の授業が行われました。この活動も6月8日に行われた手話体験と同様、3年ぶりの復活です。今回は松田町社会福祉協議会の方々から講師となり、体験プログラムを用意してくださいました。このように地域の先生から、体験的な学びを提供していただく場が、少しずつ復活してきています。

子どもたちは、目を輝かせながら、用意されたコースに乗っている人に配慮しながら進んでいきました。車いすに乗る人の立場、乗る人をサポートする人の立場、どちらも全員が経験したことにより、乗っている人の気持ち、サポートする人の気持ち等、いろいろなことが見え、体で感じることができました。

これからのSDGsの取り組みにも生かしていけそうです。

3 すべての人に
健康と福祉を



居住地交流会

9月26日に、ひまわり学級と町内に住む小田原養護学校の子どもの居住地交流会が行われました。サーキットコースを活用したゲームやダンス、自由遊びなど、楽しい雰囲気の中で会は進められました。同じ松田町の仲間と良い時間を共有することができました。

養護学校のお友だちは、ダンスやボール投げが上手で、感心してしまいました。

「すごいねえ、スポーツ選手になれるねえ。」と声をかけるとニコニコしていました。

これから町内で顔を合わせたら、あいさつのできる関係になってくれるといいです。



第2回学校公開日

9月17日(土)に、今年度2回目の学校公開が実施されました。多くの保護者のみなさまのご来校、本当にありがとうございました。

夏休み中に全国的に感染拡大がみられ、実施が心配されましたが、幸い9月に入り感染状況も落ち着き、実施することができました。新校舎は廊下が広く、扉も大胆に開くので、旧校舎よりソーシャルディスタンスに配慮しながらも参観しやすかったのかな…と感じましたが、ご意見等ありましたら、お聞かせください。

多くの参観をいただき、子どもたちもうれしそうでした。



第2回 学校評議員会

第2回学校評議員会が、公開日に合わせて開かれました。今回も学校公開において、実際に子どもたちの活動を観ていただきながら、ご意見、ご助言をいただきました。

主な内容としては、

- 算数の授業も、サポートの方々がプロフェッショナル。ありがたいことだと思う。
- 掲示物はあった方がよい。掲示板をどこに置くか、町と相談できるとよい。
- 主任児童委員の立場から、何かできることがあれば協力させていただきたい。長昼休みの見守りでも、子どもたちともふれあえる。地域に声をかけてほしい。
- 子どもたちとほとんど関わる場がないので、顔見知りになると校内でも挨拶し合えるのでいいと思う。
- ひまわり学級のような、楽しそうなのが見られてよかった。

今回も限られた時間の中ではありましたが、学校を支援し、後押しする立場から真摯なご意見をたくさんいただきました。何よりも、みなさんが子どもたちのことを真剣に考え、前向きなご提案をいただけたことがありがたかったです。今後の学校運営に生かしていきます。